

COMPASS mini vol.23

人に代わって、盤内の温度状態を監視

保全

火災・設備停止リスク低減

温度状態監視機器 K6PM-TH

詳しい情報はこちら

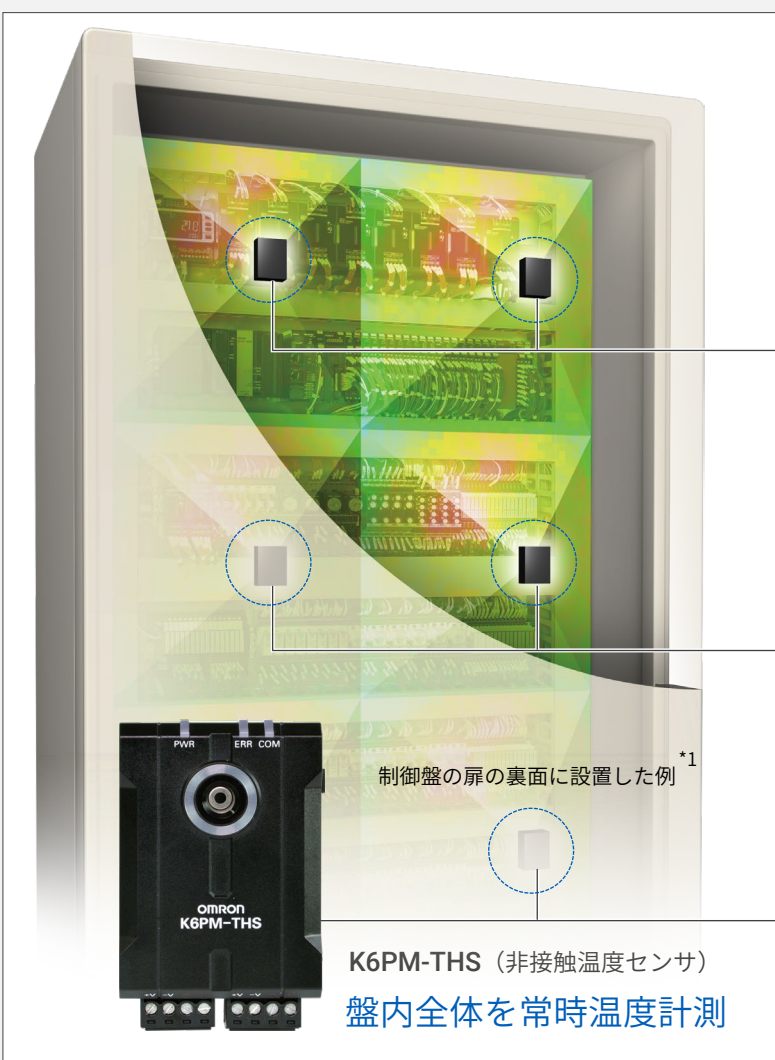
K6PM

検索



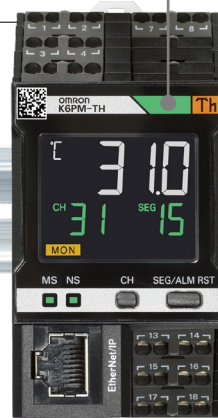
3段階の色表示で盤内機器（箇所）の温度状態を確認可能

正常 注意 警告



K6PM-THS（非接触温度センサ）
盤内全体を常時温度計測

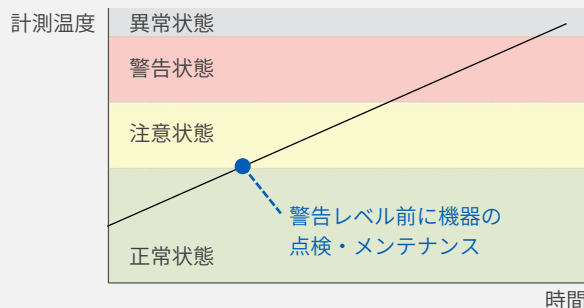
RS-485



K6PM-THMD（本体）
温度データを自動解析

機器が異常状態になる前に点検

小型・広視野角レンズ搭載の非接触温度センサを盤内に設置し、盤内機器の温度状態を常時計測。計測した温度データを本体で自動解析します。保全員の点検業務負担を軽減するとともに、常時計測することで、機器の温度が異常状態になる前に点検やメンテナンスができるので、設備停止や火災のリスクを低減できます。



*1. 最大31台まで本体に接続可能

盤に火災のリスクはつきものです。

小型化・高密度化が進む最近の配電盤や制御盤は、従来に比べて放熱性が低下するため、機器の異常発熱による設備停止が心配されます。また、配線箇所が多い盤内機器のねじが緩むと、接触抵抗が大きくなり異常発熱で最悪の場合、火災に至ることもあります。

事実、2017年から2019年の3年間に工場関係で2,751件の火災が発生していますが、そのうち発火源の34% (*)が電気関係です。

そのため、サーモビューアなどによる盤内温度の点検は欠かせませんが、点検箇所が増加する一方で保全員は不足し、点検頻度は低下する傾向にあります。K6PM-THはこれまで人手に頼っていた盤内温度の点検業務を自動化し、常時監視することで設備停止や火災のリスクを回避します。

点検頻度が低下すると...

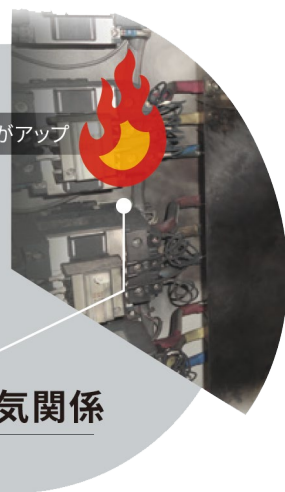
火災・発煙の発生リスクがアップ

工場等の作業場・
工場部分の出火件数
(2017-2019)

2,751件

発火源の

34%が電気関係

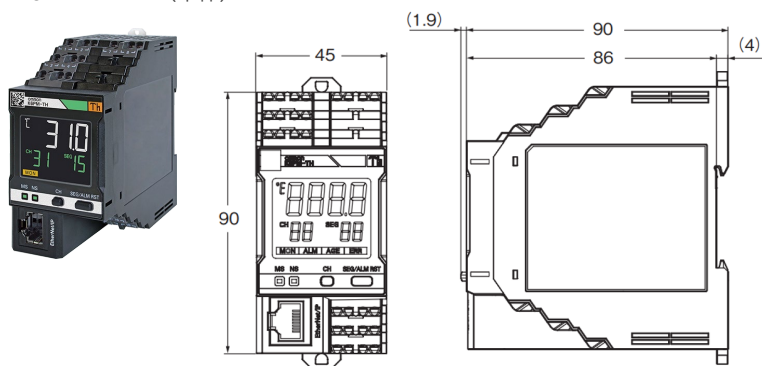


*:出典元：小林恭一『工場火災の実態とその対策～工場火災に備えて管理監督者が知っておくべきこと～』

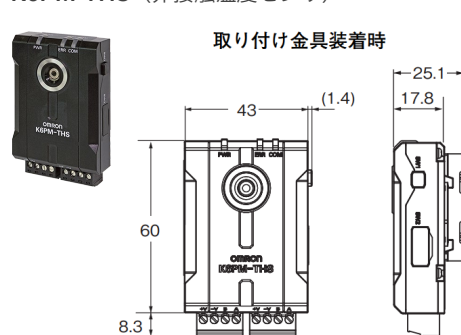
<URL:https://gcoe.tus-fire.com/archive_cms/kobayashi-k/>、2021年11月発行、2ページ、2023年4月20日現在

外形寸法

K6PM-THMD (本体)



K6PM-THS (非接触温度センサ)



温度以外の設備停止異常を捉える機器もご用意しています。

ヒータ

ヒータ状態監視機器
K7TM



詳しい情報はこちら

K7TM

検索

モータ

モータ状態監視機器
K6CM



詳しい情報はこちら

K6CM

検索

絶縁抵抗

絶縁抵抗監視機器
K7GE-MG



詳しい情報はこちら

K7GE

検索

オムロン制御機器の最新情報をご覧ください

www.fa.omron.co.jp 緊急時のご購入にもご利用ください

お問い合わせ

☎ 0120-919-066
9:00~19:00
(12/31~1/3を除く)

💬 オムロンFAクイックチャット
9:00~12:00 / 13:00~17:00
(土日祝日・年末年始・当社休業日を除く)



チャットはこちら

発行：オムロン株式会社

インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

オムロン商品のご用命は